

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野亘寛
TEL 0258-52-3998

平成18年度岩登り講習会

開催される

さる6月17日(土)・18日(日)の両日、新発田市内ノ倉の杉滝岩において平成18年度の岩登り講習会が指導員更新認定と併せて開催された。

17日(土)は受付前から、岩の感触を楽しみ技術的な確認をするクライマーもあり、杉滝岩はひと時の賑わいを見せた。山形県など県外のクライマーも訪れ、各ルートを試登するなど、杉滝岩も注目されるゲレンデとしての価値を

確立しつつあると思う。18時からの現地情報交換や懇親会が県外クライマーを交えて盛り上がったのはいうまでもない。

18日は午前8時より、阿部指導技術委員長から、開催の挨拶があり、特別講師としてすっきりお馴染みの五十嵐博氏が紹介された。その後は初心者、初級者、中級者とクラス別の講習にうつった。

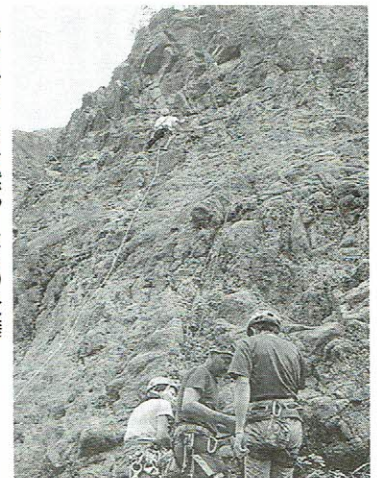
確保の仕方等の指導、確認・初級ルートの登攀を懸垂下降を行いながら、受講。

◇中級者 中級ルートを登攀する事により、更に上級の登攀技術、下降技術等の実施指導を受ける。以上が

講習内容だが、指導員更新認定会にも指定されていて、各指導員も自己の知識、技術の確認をしながら、指導していた。初級者のなかでは、人口壁のクライミング経験者もホルド、スタンスなどアルパインとの違いに戸惑う姿もみられたが、身体の柔軟性や身のこなしはさすがで、順応性もたかいと見受けられた。

今回の講習会で感じたことは初心者のクラスでは中高年男女の受講者が多く、熱心にロープワーク・懸垂下降などの岩登りの知識、基本動作を学ぶ姿勢が印象的であった。登攀用具も技術も日進月歩で年々進歩して、より便利で安全確実なギアが取り入れられるようになってきている。確保器にしても何種類もあるから、取り扱いと使用時のTPOも研究して自分にあつた用具を選挙してゆきたい。今年、青

▶ファイトを燃やしての登攀



海省で見たクライミングデモでは、すべて8環で済ましていたのが、印象的だった。講習会もたけなわとなり初心者、初級者でもアブミを使つた登攀を行う人達もあらわれ、五十嵐特別コーチの独特なユエモアと適切な指示に見守るギャラリの方が熱くなる場面もあつた。特に高年?ともみられる、女性がうまくアブミの上段を使つて、登攀終了点にタッチした時には、盛大な拍手が湧いた。今回も30名以上の参加者であつたが、各山岳団体会員は技術確認、訓練、情報収集のための参加が必要と思われる。

3時を回るころ阿部指導技術委員長より、閉会の言葉があり、西川指導技術委員ほか各講師からの講評があり、無事18年度の有意義な岩登り講習会が終了した。

浅野 亘寛
会報編集委員会



岩登り講習会を終了して

講習内容は、
◇初級者 ハーネスの装着・ロープの扱い方・ロープの結び方(8の字、ブルージック等)・カラビナの扱い方・支点の取り方・三点支持・懸垂下降について説明の後、初級ルートでの登攀、懸垂下降を行いながらの指導を受ける。
◇初級者 ハーネスの装着・ロープの結び方・支点の取り方・作方・

平成18年度 全国山岳遭難対策協議会



遭難対策委員長 楡井利幸

去る7月7日(金)～8日(土)全国山岳遭難対策協議会が、静岡市の静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」にて開催された。新潟でいうと朱鷺メッセといったところだろうか。

◆『下山での道迷い』

一日目、全体協議会の講演は、静岡大学教授の村越真氏による「道迷い遭難を防ぐ読図について」という演題で非常に興味ある講演であった。村越教授によると、年間500件以上の道迷い遭難が発生しているという。いくつかの例をあげると、☆雪の少し残る山で、雪に倒された笹のため、そちらを道と勘違いして進んでしまったケース。☆夏山で、雨水による亀裂を道と思い込むケース。☆誰が付けたかわからない赤テープや赤布など発見して正常ルートと勘違いするケース。そして里山では、地図にない道、複雑な尾根線などで、現在地点

をまったく見失ってしまったケースなどが多い。そのほとんどが下山時での道迷いで、疲労が増し、あせり、登り返す余裕もなくなり、安易にそのまま下り続けてやがて沢に出合い、滝やゴルジュ地形に行く手を阻まれ、無理に降りようとしての滑落。または下降する事ができず、救助を求めながら、頼みの携帯電話は通話圏外やバッテリーの消耗で通話ができなかったりする。水濡れや破損もある。打つ手な

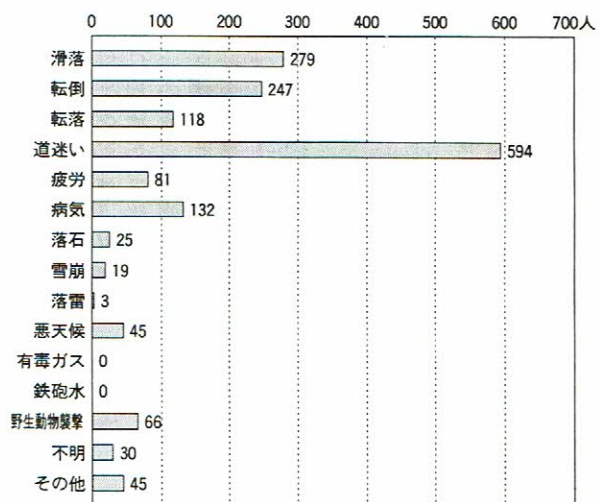
◆『地図とコンパスと体力』
先に述べた年間500件以上の道迷い遭難のうち、死亡、行方不明者が20名。その裏には捜索対象とならない道迷い事故に約10万人が遭遇し、道迷い一步手前の予備軍が30万人いたと推測されるという。GPS(グローバル・ポジショニング・システム)を装着しているから大丈夫だという人も多いが、転倒の際に壊

してしまつて遭難に至るケースもある。しっかりと地図とコンパスを使いこなす訓練を積み、おかしかったら元の位置まで戻れる体力があれば、この道迷い遭難はしなくて済むのである。

◆『山』

二日目、私は第二分科会に参加した。テーマは「中高年登山者の現状と問題点」。まず静岡県警山岳遭難救助隊から県内の事故の状況をについての説明があった。加齢に伴う体力・筋力不足・骨の脆さからくる、つまずき・転倒・骨折。それと発病と道迷い。いずれも単独登山の場合には事は深刻である旨の報告があった。続いて静岡市岳連から、中高年ハイキングスクールを開催し、多くの参加者を得たなかで、受講生が自主的にハイキングクラブを立ち上げ、市岳連に加盟したという事例報告があった。また島田ハイキングクラブ代表者から、嬉しい山行と共に、全員が山岳保険に加入し、岳連(山協)主催の講習会などにも積極的に参加して少しでも事故を減らそうと、取り組んでいることが紹介された。

◆『個人情報より「安全」が優先でしょ』
質疑の場では、登山口に於ける登山カード提出箱の個人情報保護のことが議論になり、カードを多数抜き取られた例や、カードを回収するのは誰の責任かについて意見が出されたが、「個人情報が大切か、安全が大切か」を考えて欲しい。登山口のポストへいれるのがいやなら、事前に所轄の警察・所属山岳会の事務局・家庭や職場への計画書の提出が厳守である。万一の場合捜索範囲をしぼり込めるようにしておくのが目的なのである。



発生件数	1,382件
遭難者数	1,684人
〔平成17年中における山岳遭難発生状況〕	
死者、不明者	273人
負傷者	716人
無事救出、自力登山	695人

海外・国内旅行、主催・手配

JUMPING TOUR **ユニオン航空サービス**

国土交通大臣登録旅行業第525号 DATA代理店 (注) 日本旅行業協会会員
本社：新潟県長岡市東町1丁目3番4号

http://www.ukj.co.jp

☎ (0258)33-7123
☎ (025)246-2266

☎ (0258)084 長岡市東町1丁目3番5号
一級旅行業専任主任者 森 隆樹

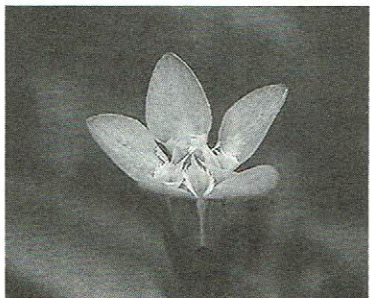
☎ (025)0916 新潟県山岳協会事務局
一級旅行業専任主任者 中島 賢

☎ (025)246-2266

越後の山に見られる変種植物

むささび会 加藤 明文

◆リンドウ Gentiana
⑤ イイデリンドウ



イイデリンドウ
飯豊山 (8月7日)



母種 ミヤマリンドウ
飯豊山 (8月16日)

母種はミヤマリンドウ nipponica「日本の」で本州中部より北日本に産し、花卉はすべて平開する。変種イイデリンドウ V, robusta「丈夫な」は飯豊連峰特産で母種より大型。花卉の副片は広い三角形で直立し、平開しない。母種は白花や淡色(ウスイロミヤマリンドウ)がよくあるが、本種は見た事が無い。属名 Gentiana はゲンチャナで、胃薬としていた、イリリア国王の名。

『やぶ道④』ヤマヒル

杉本 敏



村上市の鷲ヶ巣山でヒルに喰いつかれた。身体からむしり取った数50匹は越えた。三面山岳会の遠山 実さんに「梅雨時に登ったら、ヒルに食べてください」と言っているようなもの」と言われてしまった。小雨の中、雨具を付けて登る。目が悪いのに雨のためメガネをはずして登る。視力が落ちた分、怖いものなしで登り続けた。仲間が足下に何か居ると叫ぶが、自分には見えない。雨だからミミズが喜んでいるんだろう、と受け答えてし

まった。途中で異変に気が付いた。喰い付いたヒルはなかなか身体から外れない。立ち止まっていると、爪楊枝の太さのヒルがどんどん身体を登ってくる。早い。親指の先ほどに膨らんだヒルを取る方が先か、新たな敵から逃れるのが先か、パニック、パニック。結局、登高意欲が萎えてしまい、前ノ岳までで逃げるように下山する。走るように下山したのに、登山口でまたも数匹のヒルを身体から取り除くことになった。どうしてあの小さいヒルが素早く取り付くのか。その運動神経には恐れ入った。今、ヒルはカモシカなどを媒体として生息地域が広がりに続けている。梅雨時、背中がぬるつとしたら用心心。

賛助会費

のお願い

新山協ニュース222号掲載の内容にて、賛助会員を募集し

ております。4月評議員会議事に申しました今年の目標達成が、皆様のご支援のお蔭をもちまして、もう少しというところでございます。各位におかれまして

は、より一層のご理解と趣旨ご賛同の上多数のご入会をお願い申し上げます。ご入金され、ご協力頂いた方々ありがとうございました。

記

新潟県山岳協会事業

- 1 国民体育大会山岳競技に関する事項
- 2 県体育協会登山部門に関する事項
- 3 日本山岳協会に関する事項
- 4 登山施設の改善促進及び技術指導に関する事項
- 5 遭難対策に関する事項
- 6 加盟団体の主管する事業に対する相互協力に関する事項
- 7 その他本会の目的達成に必要な事項

◆賛助会費

年額 10,000円

◆賛助会費の振り込み先口座

☆郵便振替 新潟県山岳協会

☆口座番号 006501812040

☆銀行口座の場合

第四銀行長岡市役所前支店

☆普通預金 1179492

名義は新潟県山岳協会

賛助会員入会のお礼

次の皆様から、ご入会、ご

継続を頂きましたので、ご報

告させて頂きます。

**第9回
新潟クライミング
カップ開催要項**

県内のクライミングの普及とレベルアップを目的として第9回新潟カップが開催される。

- 1 主催 新潟県山岳協会
- 2 主管 新潟県山岳協会クライミング委員会
- 3 協賛 国際アウトドア専門学校
- 4 後援 アウトスポーツ 石井スポーツ ウェスト パーマー

*5月31日～6月30日現在のご入会、ご継続状況です。

- (敬称略、順不同)
- 新潟県山岳協会
会長 橋本 正巳
理事長 片桐 一夫
総務委員長 七沢恭四郎

- 平井敏公(高田HC)、荒川ワンダーフォーゲル、藤巻道夫(糸魚川山岳会)、馬場潤一郎(協会顧問)、平田大六(関川村山の会)、本間一人(亀田山岳会)、山野百合(協会会員 匿名希望)、本田春夫(亀田山岳会)

- 5 期日 10月22日(日)
- 6 受付 8:00～8:30
- 7 開会式 8:30～9:00
- 8 競技開始 9:00
- 9 会場 国際アウトドア専門学校
〒949-1221
新潟県妙高市原通70
TEL 0255-82-4450
- 10 種別
1 小学生の部 男子・女子
2 ミドルの部(5.11以下) 男子・女子
3 オープンの部 男子・女子
4 シニアの部(男50才・女40才以上) 男子・女子
- 11 競技規則
オンサイト・リード方式
(小学生の部はトップロープ)
- 12 U I A A競技規則による(一部異なる部分有り)
- 13 参加資格 リードクライミングのできる人(小学生

- 14 の部を除く) 参加費 2,000円
中学生以下 1,000円
- 15 申込方法 申込書に記入し、申込先まで郵送 又は持参
10月13日必着
- 16 申込先
〒949-3241
新潟県上越市柿崎百木1023
稲田 春男
(問合せ先)
電話 090-3131-3703
※募集要項、参加申込は新潟県山岳協会ホームページからも取得可。
<http://www.echigo.jp/~nma/>
- 17 参加上の注意
1 小学生、シニアの方も2、3のクラスに出場可能です。(一人、1種目)
2 参加費は当日受付でお支払い下さい
3 参加費には保険料は含まれていません
4 宿泊施設ご希望の方は、直接民間施設にお申込下さい
新潟県山岳協会
会長 橋本 正巳
クライミング委員長 稲田 春男

編集こうき

▲またも今年の梅雨は、かつてないほどの多量の雨が長期にわたり、列島に降り注いだ。河川の氾濫、道路の決壊、地滑り、家屋の流失もあり、日本列島はズタズタだ。そして多くの貴い人命を失ったことは本当に傷ましい。

梅雨明けからは、本格的な夏山が始まる。長梅雨で緩んだ、登山道、縦走路の崩壊、沢や、岩場の浮石や岩石の崩落など、充分注意して行動したい。アプローチの車道なども事前に充分情報確認してから出掛けたい。

▲うっとうしい長雨。狭い自宅の裏庭に初めて咲いた二輪のアジサイ、雨氣にけむる緑の中、そこだけが清々しいコバルト色の光彩をはなっていた。

▲7月上旬、格爾木(ゴルムド)から大柴丹への緑ひとつない黄土の砂漠を行く。太陽の直射をうけた凹面鏡のなかをゆくがごとくだ。3000mの黄土砂漠は車中に居ても、身体の水分が蒸発してゆくのが分る。

車内で歓声があがった。遙か地平線に見えていた高山は曇気楼だった。(会報編集 浅野)

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

**登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー**

パーマーク
Mountain & Outdoor
Parr Mark

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>